

令和元年12月9日

保護者 様

八代市教育委員会
教育長 北岡 博
八代市立八千把小学校
校長 渡邊 裕一

学校給食調理場の業務休止について

令和元年12月9日に西部学校給食センターの学校給食従事者がノロウイルスに感染していることが判明いたしました。

学校給食衛生管理基準では、高感度の検便検査においてノロウイルスを保有していないことが確認されるまでの間、食品に直接接触する調理作業を控えさせるなど適切な処置をとること。また、ノロウイルスにより感染性胃腸炎が発症した学校給食従事者と一緒に食事を喫食する、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の発症者が家族にいるなど、同一の感染機会があった可能性がある調理従事者について速やかに高感度の検便検査を実施し、検査の結果ノロウイルスを保有していないことが確認されるまでの間、調理に直接従事することを控えさせる等の手段を講じるよう努めることとなっております。

そこで、学校給食による食中毒防止の観点から、下記のとおり、学校給食調理場の業務を休止することを八代市教育委員会が決定いたしましたのでお知らせいたします。

つきましては、10日(火)は牛乳と救給カレーの簡易給食が提供されますが、11日(水)12日(木)は牛乳のみの提供となりますので、ご家庭から弁当を持参していただきますようお願い申し上げます。

たいへん御迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございませんが、子どもたちの安全を優先した対応でございますので、何卒、御理解と御協力を重ねてお願い申し上げます。

記

1. 業務を休止する期間
令和元年12月10日(火)～令和元年12月12日(木)従事者全員の検便検査を行います。検査結果次第では、休止される期間が延長される場合があります。その場合は、再度、お知らせいたします。
2. 休止する理由
 - (1) ノロウイルスによる食中毒の未然防止
 - (2) 学校給食法第9条「学校給食衛生管理基準」に基づき、学校給食調理場従事者の検便検査を実施する必要があるため
3. ノロウイルスとは
人の小腸粘膜で増殖するウイルスです。主に11月から3月にかけて胃腸炎を起こします。少量のウイルス(100個以下)でも発症し感染力のとても強いウイルスです。感染すると1～2日の潜伏期間を経た後、吐き気、嘔吐、下痢、発熱(38℃以下)の他、頭痛や上気道炎など、かぜに似た症状が現れることもあります。